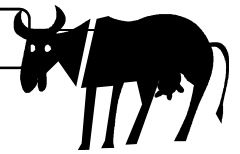


畜産経営 支援情報

平成24年1月20日(金)
社団法人 群馬県畜産協会

掲載情報の詳細は、畜産協会までお問い合わせください！



1/13(金)・食肉

【和牛の出荷が回復】11月の食肉流通～日本農業新聞

- ・食肉流通統計によると、昨年11月の和牛出荷量は前年同月比10%以上伸びた
- ・原発事故による出荷制限で待機していた肥育牛の出荷が進んだ

1/14(土)・情勢

【TPP、米国にも不利益一全中一】～日本農業新聞

- ・米通商代表部へ意見。飼料輸出が激減

1/14(土)・情勢

【TPP、米国一般市民は関心薄い】～日本農業新聞

- ・「自由貿易アレルギー」も少なからず存在

1/15(日)・情勢

【TPP、米国業界・自動車、保険が強硬】～日本農業新聞

- ・TPP、意見募集で対日要求

1/17(火)・飼料

【干し草、サイレージ検査、14カ所基準値超え】～上毛新聞

- ・基準を超えた14地区に対し、大字単位で乳用牛と肥育牛への給与自粛を要請した

1/18(水)・経営

【原発賠償は課税対象】～日本農業新聞

- ・農家に不満、周知も進まず

1/20(金)・衛生

【BSE対策見直し、専門調査会が初会合】～日本農業新聞

- ・起草委員会を設け、論点整理
- ・BSE対策の見直しに向けて国の食品安全委員会は19日、プリオン専門調査会を開いた
- ・厚生労働大臣が規制を緩和した場合の健康影響評価を委員会に諮問したのを受けて
- ・内容が多岐にわたるため、委員会の下に「起草委員会」を設けて論点整理し、調査会に提言する

1/20(金)・食肉

【「安全」重視強まる】～日本農業新聞

- ・国産牛肉に厳しい見方
- ・日本農業新聞の調査で食肉流通業者の販売戦略は原発事故を背景に「安全・安心」を重視する回答が目立った。
- ・放射性物質の風評被害を受けた国産牛肉の消費動向は「横ばい」「減る」との回答が6割を占めた

「群馬食肉市場・枝肉相場」【1/18水】【牛枝肉】(kgあたり) (和牛めす) A3・998円、(和牛去勢) A4・1523円、A3・1255円 (F1めす) A3・883円、B4・955円、B3・861円、B2・702円 (F1去勢) A4・1296円、A3・920円・A2・924円、B5・1524円、B4・1187円、B3・904円、B2・721円【1/18水】【豚枝肉】(kgあたり)と畜1985頭、上場992頭/極上366円、上359円(対前日-24円)、中352円(同-21円)

「前橋家畜市場・スモール相場」【1/12木】(1頭あたり) (スモール) 交雑めす88千円/交雑オス146千円/乳用オス26千円(子牛) 和牛メス281千円/和牛オス330千円

「経営相談窓口」の開催

【畜産協会事務所】 業務日の8:30～17:30、電話または事務所へ来所ください。

「出張相談窓口」 今後の開催予定日

【前橋家畜市場】① 2/2 (木) ② 2/16 (木) ③ 3/15 (木) 【館林家畜市場】① 2/7 (火) ② 3/7 (水) 【渋川家畜市場】① 2/10 (金)

社団法人 群馬県畜産協会 (経営支援部) Eメール: gunma@chikusankyokai.or.jp

電話: 027-220-2371 / FAX: 027-220-2372

〒379-2147 前橋市亀里町1310 JAビル6階 ホームページ: <http://chikusankyokai.or.jp>